

圧力指示計

PG500

操作説明書

All Rights Reserved, Copyright © 2007, RKC INSTRUMENT INC.

IMR02F02-J4

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みいただき、内容を理解された上でご使用ください。
なお、本書は大切に保管し、必要なときに活用ください。

本書はPG500の操作方法について説明したものです。

設置・配線、各部の名称、仕様および通信機能（オプション）については、必要に応じて、以下に示す取扱説明書を参照してください。

PG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F01-JIC): 製品添付

PG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F03-JIC): 通信機能付きの場合のみ製品添付

PG500 通信取扱説明書 (IMR02F04-JIC): 別冊

別冊の説明書は、当社ホームページからダウンロードできます。
ホームページアドレス http://www.rkcinst.co.jp/down_load.htm

1. 取扱手順

設置・配線

PG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F01-JIC) を参照

電源 ON

使用する圧力センサにあわせて使用条件を設定します。
4.2 セットアップ設定モードを参照

動作条件の設定

本機器の基本動作に関わる動作条件を設定します。
4.4 エンジニアリングモードを参照

ゼロ／フルスケール調整

オートゼロ（ゼロ点の調整）、オートキャリブレーション（フルスケール点の調整）を行います。
4.3 パラメータ設定モードを参照
初回使用時、または圧力センサ交換時は、ゼロ点またはフルスケール点の調整を必ず行ってください。

警報の設定

警報設定値を設定します。
4.3 パラメータ設定モードを参照

運 転

2. データの設定方法

変更した内容を登録する際は、必ず SET キーを押します。

アップキー、ダウンキーの操作だけでは、変更した内容は登録されません。

設定値変更した後に、登録操作をせずに1分間経過すると、測定値 (PV) 表示に戻ります。
このような場合も、変更した内容は登録されません。

例: 第 1 警報設定値 (AL1) を 20 MPa に変更する場合

1. パラメータ設定モードの第 1 警報設定値 (AL1) 画面に切り換える

電源 ON

自動*

測定値 (PV)

50

パラメータ設定モード

オートゼロ

第 1 警報設定値

AL1

* 圧力単位を表示後 (約 4 秒間)、測定値 (PV) へ切り換わります。

2 秒以上押す

数回押す

2. 第 1 警報設定値 (AL1) を 20 MPa に変更する

<MONI キーを押すと、データ表示に切り換わります。明点灯している桁が設定変更できます。

第 1 警報設定値

AL1

明点灯

明点灯

0050 (データ表示)

0050

十位の桁を明点灯させます。

0020

数値を「2」にします。

3 回押す

3. 第 1 警報設定値 (AL1) を登録する

第 1 警報設定値

0020

パラメータ設定モード

第 2 警報設定値

AL2

登録

表示はつぎのパラメータに切り換わります

他のパラメータを設定する場合も、設定手順は同様です。

3. モードおよびパラメータの切換方法

本製品は 1 分以上キー操作をしないと、測定値 (PV) 画面に戻ります。

仕様がない項目のパラメータは表示されません (エンジニアリングモードは除く)。

電源 ON

自動

圧力単位表示

圧力単位記号:
MPa
bar

自動 (約 4 秒間表示)

モニタモード

測定値 (PV)

28

ピーク値を表示

PHLd

ピークホルドモニタ

50

ボトム値を表示

bHLD

ボトムホルドモニタ

0

測定値 (PV) へ戻る

パラメータ設定モード

オートゼロ

オートキャリブレーション

ホルドリセット

インターロック解除

第 1 警報設定値

第 2 警報設定値

第 3 警報設定値

第 4 警報設定値

オートゼロ (Azer) へ戻る

インターロック不使用の場合は表示されません。

警報機能なしの場合は表示されません。

セットアップ設定モード

入力種類

ゲイン設定

表示単位

入力小数点位置

圧力表示上限

圧力表示下限

リニアライズ種類

PV バイアス

PV デジタルフィルタ

PV レシオ

デバイスアドレス

通信速度

データビット構成

インターバル時間

設定ロックレベル

入力種類 (InP) へ戻る

* 通信機能なしの場合は表示されません。

エンジニアリングモード

ファンクションブロック 10

F10.

表示タイマ

dSPr

PV 表示条件

dSoP

F10.へ戻る

ファンクションブロック 21

F21.

シャント抵抗出力値

SHnT

入力異常判断点上限

PaH

入力異常判断点下限

PUh

ゲイン設定小数点位置

GdP

F21.へ戻る

ファンクションブロック 33

F33.

伝送出力スケール上限

AH5

伝送出力スケール下限

ALS

伝送出力タイマ

AoT

F33.へ戻る

ファンクションブロック 41

F41.

第 1 警報種類

AS1

第 1 警報待機動作

AHo1

第 1 警報インターロック

ILS1

第 1 警報出力の励磁／非励磁

EYCI

第 1 警報動作すきま

AH1

第 1 警報遅延タイマ

ALr1

第 1 警報入力異常時の動作

AEo1

F41.へ戻る

ファンクションブロック 60

F60.

通信プロトコル

CnP

F60.へ戻る

ファンクションブロック 91

F91.

ROM バージョンモニタ

C448

積算稼働時間モニタ

CT

F91.へ戻る

F91.へ戻る

F42.~F44.*

* ファンクションブロック 42~44 (F42.~F44.) が表示されます。
ファンクションブロック 42 (F42.): 第 2 警報のパラメータ
ファンクションブロック 43 (F43.): 第 3 警報のパラメータ
ファンクションブロック 44 (F43.): 第 4 警報のパラメータ
内容はファンクションブロック 41 (F41.) と同じです。

4. パラメーター一覧

4.1 モニタモード

記 号	名 称	データ範囲	説 明
—	測定値 (PV)	圧力表示下限～ 圧力表示上限	測定値 (PV) を表示します。
PHLd (PHLd)	ピークホルド モニタ *	圧力表示下限～ 圧力表示上限	測定値 (PV) の最大値を表示します。
bHLD (bHLD)	ボトムホルド モニタ *	入力断線時: 表示限界値	測定値 (PV) の最小値を表示します。

* ホールドのリセットは、パラメータ設定モードのホルドリセット (HLdR)、またはデジタル入力 2 (DI2、13-15 番端子間) で行えます。また、電源を OFF にした場合や、入力種類 (InP)、ゲイン設定 (GAIN)、表示単位 (Unit)、入力小数点位置 (PGdP) およびリニアライズ種類 (LinS) の設定値を変更した場合もリセットされます。

4.2 セットアップ設定モード

以下の項目は使用する圧力センサに合わせて設定してください。

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
InP (InP)	入力種類	0~4 入力種類と出荷値表を参照	入力の種類です。	型式コードによって異なる
GAIN (GAIN)	ゲイン設定	0.500~4.000 mV/V または 0.5000~1.9999 mV/V 小数点位置はゲイン設定 小数点位置設定によって異なります。	圧力センサのゲインです。 ●使用条件の設定例を参照	入力種類と出荷値表を参照
Unit (Unit)	表示単位	1: MPa 2: bar	入力の表示単位です。 ●使用条件の設定例を参照	1
PGdP (PGdP)	入力小数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁	表示値の小数点位置です。	0
SCH (SCH)	圧力表示上限	圧力表示下限~19999 小数点位置は入力小数点位置設定によって異なります。	圧力表示範囲の上限値です。 ●使用条件の設定例を参照	50
SCL (SCL)	圧力表示下限	0~圧力表示上限 小数点位置は入力小数点位置設定によって異なります。	圧力表示範囲の下限値です。 ●使用条件の設定例を参照	0
LinS (LinS)	リニアライズ種類	0~20 感度調整用抵抗内蔵圧力センサの場合: 出荷値「0」のままで使用してください。	当社製圧力センサ CZ-100P/CZ-200P のリニアライズ種類です。 ●使用条件の設定例を参照	0

入力種類と出荷値表

設定値	入力種類	ゲイン設定の出荷値 (mV/V)
0	当社製 CZ-100P/CZ-200P 対応 (標準仕様)	1.500
1	当社製 CZ-100P/CZ-200P 対応 (本質安全防爆仕様)	1.500
2	当社製 CZ-100P/CZ-200P 対応 (標準仕様) [ルーズナット: 0.0~0.5 MPa、固定ナット: 0~5 MPa]	0.650
3	当社製 CZ-100P/CZ-200P 対応 (本質安全防爆仕様) [ルーズナット: 0.0~0.5 MPa、固定ナット: 0~5 MPa]	0.650
4	3.33 mV/V 出力タイプ対応 (他社製圧力センサ)	3.330

● 使用条件の設定例 (当社製圧力センサ CZ-100P/CZ-200P の場合)

圧力センサ外筒部の定格銘板に刻印されている、圧力レンジ (MPa) の数値と単位を圧力表示上限 (SCH)、圧力表示下限 (SCL) および表示単位 (Unit) に設定します。また、定格出力値 (mV/V) とリニアライズ種類記号を、ゲイン設定 (GAIN) とリニアライズ種類 (LinS) に設定します。

0-20 MPa

表示単位 (Unit): 1 (MPa)
圧力表示上限 (SCH): 20
圧力表示下限 (SCL): 0

1.234 C

リニアライズ種類記号
リニアライズ種類記号表を参照して、リニアライズ種類 (LinS) に設定します。
→ 「1」を設定

定格出力値
ゲイン設定 (GAIN) に設定します。
→ 「1.234」を設定

RKC PRESSURE SENSOR

TYPE CZ-100P-HB-SNN

PRESSURE RANGE 0~20 MPa

RATED OUTPUT 1.234 C mV/V±1%

No. 97J21020 DATE 9710

RKC INSTRUMENT INC. MADE IN JAPAN

(定格銘板例)

リニアライズ種類記号表

設定値	リニアライズ種類記号	設定値	リニアライズ種類記号	設定値	リニアライズ種類記号
0	記号なし	7	J	14	S
1	C	8	K	15	T
2	D	9	L	16	U
3	E	10	M	17	V
4	F	11	P	18	W
5	G	12	Q	19	X
6	H	13	R	20	Y

当社製 CZ-100P/CZ-200P の定格出力値 (mV/V) はケーブル長 5 m 時のものです。
ケーブルを延長した場合や他社ケーブル使用の場合は、ゲイン値を変更して補正する必要があります。詳細は、CZ-100P/PCT-300 樹脂圧力計取扱説明書 (IM100CZ04-JIC) または CZ-200P 取扱説明書 (IM100CZ08-JIC) を参照してください。

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
Pb (Pb)	PV バイアス	-入力スパン～ +入力スパン 小数点位置は入力小数 点位置設定によって異 なります。	センサ補正等を行う測 定値に加えるバイアス です。 手動によるゼロ点の調 整が行えます。	0
dF (dF)	PV デジタル フィルタ	0.1～100.0 秒 oFF: 不使用	測定入力に対するノイズの低減をはかる、一次遅れフィルタの時間です。	oFF
Pr (Pr)	PV レシオ	0.500～1.500	センサ補正等を行う測定値に対して加えるレシオ (倍率) です。 手動によるフルスケール点の調整が行えます。	1.000
Add (Add)	デバイスアドレス	通信機能 [オプション] 付きの場合に表示されます。 PG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F03-JC) を参照		
bPS (bPS)	通信速度			
biΓ (biΓ)	データビット構成			
lnΓ (lnΓ)	インターバル時間			
LCK (LCK)	設定ロックレベル	0: 設定可 (ロック解除) 1: 設定不可 (ロック) 桁ごとに、0 または 1 を設定します。	キー操作によるパラメータの設定変更を制限します (設定データロック機能)。	0000
0000 ← PV 表示器の表示 警告設定値 (AL1～AL4) を除いたセットアップ設定モードとパラメータ設定モードのパラメータ (エンジニアリングモードのパラメータは除く) 警告設定値 (AL1～AL4) のみ 0 固定 (変更禁止) 0 固定 (変更禁止)				

- PV レシオ
[当社製圧力センサ CZ-100P/CZ-200P の場合]
 - 防爆仕様タイプ
PV レシオには、当社製セイフティバリア RZB-001 の補正係数を設定してください。セイフティバリアによる指示誤差を補正します。補正係数は、セイフティバリア (RZB-001) の銘板に記入されています。
 - 非防爆仕様タイプ
PV レシオは、出荷値「1.000」のままで使用してください。**[感度調整用抵抗内蔵圧力センサの場合]**
オートキャリブレーションで算出された結果は、PV レシオに反映されます。この PV レシオの値を変更することで、手動によるフルスケール点の調整が行えます。

4.3 パラメータ設定モード

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
AZE (AZEr)	オートゼロ*	-5.0～+5.0 mV (入力換算値)	測定値のゼロ点を調整します。 ●オートゼロ手順参照	—
ACAL (ACAL)	オートキャリブレーション	—	測定値のフルスケール点を調整します。 ●オートキャリブレーション手順参照	—
HLdr (HLdr)	ホールドリセット*	—	ピークホールド/ボトムホールド値をリセットします。	—
[リセット手順] 測定値 (PV) オートゼロ ホールドリセット リセットを実行				
ILr (ILr)	インターロック解除*	第 1 警報～第 4 警報のインターロック機能不使用の場合は、表示されません。	警報のインターロック状態を解除します。すべての警報のインターロック状態を一括で解除します。	—
[解除手順] 測定値 (PV) オートゼロ インターロック解除 解除を実行				
AL1 (AL1)	第 1 警報設定値 (AL1)	圧力表示下限～圧力表示上限	警報設定値です。警報設定値を超えると、警報出力 (ALM1～ALM4) から信号を出力します。	50
AL2 (AL2)	第 2 警報設定値 (AL2)	警報機能なしの場合は表示されません。		0
AL3 (AL3)	第 3 警報設定値 (AL3)	小数点位置は入力小数点位置設定によって異なります。		50
AL4 (AL4)	第 4 警報設定値 (AL4)			50

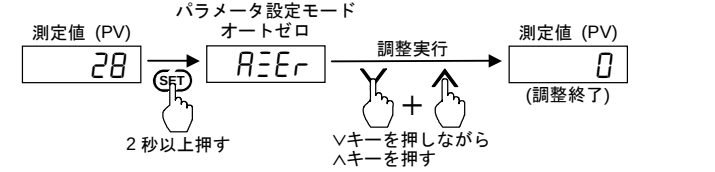
- オートゼロ、ホールドリセットおよびインターロック解除は、デジタル入力でも実行できます。
DI1 (13-14 番端子間): オートゼロ
DI2 (13-15 番端子間): ホールドリセット
DI3 (13-16 番端子間): インターロック解除

-  デジタル入力については、PG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F01-JC) を参照してください。

● オートゼロ手順

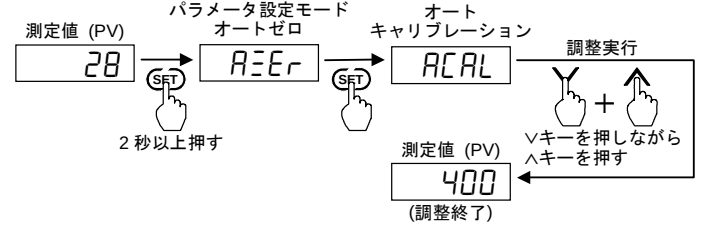
オートゼロを実行すると測定値 (PV) が 0 になるように、PV バイアス (Pb) を自動で設定します。

- 装置に圧力センサが取り付けられていることを確認します。
- 圧力センサを取り付けた装置を、運転時の温度まで昇温させます。
- 圧力センサを無負荷状態にします。
- オートゼロ画面でダウンキーを押しながらアップキーを押すと、オートゼロを開始します。オートゼロが正常に終了すると、測定値 (PV) 画面に戻ります。



-  エラーの場合は「A=Er」と「Err」を交互に表示します。いずれかのキー (SET キー、<MONI キー、ダウンキー、アップキー) を押すと、エラーを解除して測定値 (PV) 画面に戻ります。
-  オートゼロの調整結果は、PV バイアス (Pb) に反映されます。この PV バイアスの値を変更することで、手動によるゼロ点の調整が行えます。
-  オートゼロはデジタル入力 (DI1、13-14 番端子間) でも実行できます。

- オートキャリブレーション手順 (感度調整用抵抗内蔵圧力センサの場合のみ)
オートキャリブレーションを実行すると、測定値 (PV) がシャント抵抗出力値 (ShNT) の圧力になるように PV レシオ (Pr) を自動で設定します。
 - 装置に圧力センサ (感度調整用抵抗内蔵) が取り付けられていることを確認します。
 - 圧力センサを取り付けた装置を、運転時の温度まで昇温させます。
 - オートキャリブレーション画面でダウンキーを押しながらアップキーを押すと、オートキャリブレーションを開始します。オートキャリブレーションが正常に終了すると、測定値 (PV) 画面に戻ります。



-  エラーの場合は「ACAL」と「Err」を交互に表示します。いずれかのキー (SET キー、<MONI キー、ダウンキー、アップキー) を押すと、エラーを解除して測定値 (PV) 画面に戻ります。
-  本機器の場合、R-cal 出力を発生させるために、圧力センサ側のケーブル (CAL+と CAL-) 間を短絡する必要はありません。
-  オートキャリブレーションで算出された結果は、PV レシオ (Pr) に反映されます。この PV レシオの値を変更することで、手動によるフルスケール点の調整が行えます。

4.4 エンジニアリングモード



警 告

エンジニアリングモード (F10～F91) の内容は、使用条件にあわせて最初に設定するデータであり、その後、通常に使用されている限りでは変更の必要がない項目です。また、むやみに設定を変更すると、機器の誤動作、故障の原因となりますので注意してください。この場合の機器故障、破損については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

-  エンジニアリングモードのパラメータは、計器仕様にかかわらず、すべて表示されます。

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
F10 (F10)	ファンクションブロック 10	ファンクションブロック 10 の最初のパラメータです。		
dSPt (dSPT)	表示タイマ	0.1～10.0 秒	モニタ値が更新される時間です。	0.1
dSoP (dSoP)	PV 表示条件	0～63 (10 進数) Bit 0: PV 値のマイナス表示 Bit 1: 入力異常時 * Bit 2: 第 1 警報発生時 Bit 3: 第 2 警報発生時 Bit 4: 第 3 警報発生時 Bit 5: 第 4 警報発生時 データ Bit 0 の場合 0: マイナス表示あり 1: マイナス表示なし Bit 1～Bit 5 の場合 0: 点滅なし 1: 点滅あり	測定値 (PV) の点滅表示条件と PV 値のマイナス表示の設定です。警報発生時は、点滅ありに設定すると、測定値 (PV) と警報番号を交互に表示します。 ビットデータ 000000 ↑ Bit 5…………… Bit 0 ビットデータを 10 進化して設定します。	0

- 点滅ありに設定すると、以下のときに測定値 (PV) を点滅表示します。

- 測定値 (PV) が、入力スケール上限または下限を超えたとき

- 測定値 (PV) が、入力異常時判断点上限または下限を超えたとき

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
F21 (F21)	ファンクションブロック 21	ファンクションブロック 21 の最初のパラメータです。		
ShNT (ShNT)	シャント抵抗出力値	40.0～100.0 % 感度調整用抵抗内蔵圧力センサの場合に有効です。	オートキャリブレーションによって、測定値 (PV) のフルスケール点を調整するときに、「定格出力の何%」が出力されるかの設定です。	80.0
PoB (PoV)	入力異常判断点上限 ¹	圧力表示下限- (入カスパンの 5 %)～圧力表示上限+ (入カスパンの 5 %)	入力測定値が入力異常判断点上限以上になると入力異常動作を行います。	53
PUn (PUn)	入力異常判断点下限 ¹	圧力表示下限- (入カスパンの 5 %)～圧力表示上限+ (入カスパンの 5 %)	入力測定値が入力異常判断点下限以下になると入力異常動作を行います。	-2
brKS (brKS)	バーンアウト方向 ²	0: アップスケール 1: ダウンスケール	入力断線時におけるバーンアウト方向です。	0
GdP (GdP)	ゲイン設定 小数点位置	3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁	ゲイン設定値の小数点位置です。	3
F33 (F33)	ファンクションブロック 33	ファンクションブロック 33 の最初のパラメータです。		
AHS (AHS)	伝送出力スケール上限 ¹	伝送出力スケール下限～圧力表示上限	伝送出力のスケール上限値です。	50
ALS (ALS)	伝送出力スケール下限 ¹	圧力表示下限～伝送出力スケール上限	伝送出力のスケール下限値です。	0
AoΓ (AoΓ)	伝送出力タイマ	0.1～10.0 秒	伝送出力値が更新される時間です。	0.1
F41 (F41) : : : F44 (F44)	ファンクションブロック 41 : : : ファンクションブロック 44	ファンクションブロック 41～44 の最初のパラメータです。 F41: 第 1 警報のパラメータ F43: 第 3 警報のパラメータ F42: 第 2 警報のパラメータ F44: 第 4 警報のパラメータ		
AS1 (AS1) : : AS4 (AS4)	第 1 警報種類 : : 第 4 警報種類	0: 警報機能なし 1: 上限入力値警報 2: 下限入力値警報	警報の種類です。	型式コードによって異なる ³
AHo1 (AHo1) : : AHo4 (AHo4)	第 1 警報待機動作 : : 第 4 警報待機動作	0: 待機なし 1: 待機あり	警報の待機動作の選択です。	型式コードによって異なる ³
ILS1 (ILS1) : : ILS4 (ILS4)	第 1 警報インターロック : : 第 4 警報インターロック	0: 不使用 (機能 OFF) 1: 使用	警報のインターロック機能の選択です。	0
EXC1 (EXC1) : : EXC4 (EXC4)	第 1 警報出力の励磁/非励磁 : : 第 4 警報出力の励磁/非励磁	0: 励磁 1: 非励磁	警報の励磁/非励磁の選択です。	0
AH1 (AH1) : : AH4 (AH4)	第 1 警報動作すきま ¹ : : 第 4 警報動作すきま ¹	0～入力スパン	警報の動作すきまです。	2
ALT1 (ALT1) : : ALT4 (ALT4)	第 1 警報遅延タイマ : : 第 4 警報遅延タイマ	0.0～600.0 秒	警報が、警報設定値を超えてから、警報状態になるまでの遅延時間です。	0.0
AEo1 (AEo1) : : AEo4 (AEo4)	第 1 警報入力異常時の動作 : : 第 4 警報入力異常時の動作	0: 通常の警報動作 1: 強制警報 ON 測定値 (PV) が入力異常判断点上限値または下限値を超えたときに強制的に警報を ON にします。	測定値 (PV) が入力異常判断点上限値または下限値を超えたときの動作を選択します。	0
F60 (F60)	ファンクションブロック 60	ファンクションブロック 60 の最初のパラメータです。		
CnP (CMP)	通信プロトコル	0: RKC 通信 1: MODBUS	通信機能のプロトコルです。	0
F91 (F91)	ファンクションブロック 91	ファンクションブロック 91 の最初のパラメータです。		
C448 (C448)	ROM バージョン モニタ	0～999 (C448-□□□)	搭載されている ROM のバージョンです。	—
ΓT (WT)	積算稼働時間モニタ	0～19999 時間	本機器の積算稼働時間です。	—

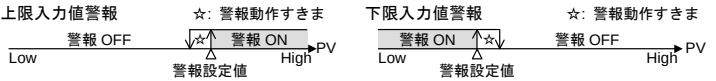
¹ 小数点位置は入力小数点位置設定によって異なります。

² バーンアウト方向を切り換えには、バーンアウト方向切換スイッチの設定が必要です。スイッチの設定については、PG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F01-JC) を参照してください。

³ コード指定なしの場合: 第 1 警報: 上限入力値警報 (待機なし) 第 3 警報: 警報機能なし 第 2 警報: 下限入力値警報 (待機なし) 第 4 警報: 警報機能なし

■ 警報機能 [オプション]

動作: 測定値 (PV) が警報設定値に達すると、警報 ON 状態となります。



● 警報待機動作

待機動作は、電源を ON にしたときに測定値 (PV) が警報状態にあっても、これを無視して測定値 (PV) が一度警報状態から抜けるまで警報機能を無効にする動作です。測定値 (PV) が警報 OFF 領域に入ると待機動作は解除されます。

● 警報インターロック

測定値 (PV) が一度警報状態の領域に入ると、その後、測定値 (PV) が警報状態の領域を外れても警報状態を保持する機能です。

● 警報の動作すきま

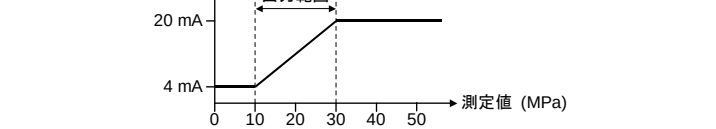
測定値 (PV) が警報設定値付近にあると入力のふらつき等によって、警報のリレー接点が ON、OFF をくり返すことがあります。警報の動作すきまを設定すると、リレー接点の ON、OFF のくり返しを防ぐことができます。

● 警報遅延タイマ

警報状態が遅延タイマ時間を超えた場合に警報出力を ON にする機能です。測定値 (PV) が警報設定値を超えた時点で遅延タイマが動作し、遅延タイマ設定時間を経過しても、測定値 (PV) が警報設定値を超えていた場合に警報出力が ON になります。なお、遅延タイマが動作中に警報状態が解除された場合は、警報出力は ON になりません。

■ 伝送出力機能 [オプション]

伝送出力は、測定値 (PV) を電圧／電流信号として出力する機能です。また、伝送出力スケール下限、伝送出力スケール上限を設定すると、測定値 (PV) の任意の範囲を出力することができます。例: 圧力範囲が 0～50 MPa のとき、測定値 (PV) の 10～30 MPa 間をレコーダに記録する場合
出力信号種類: 電流出力 DC 4～20 mA
伝送出力スケール上限 (AHS): 30 MPa
伝送出力スケール下限 (ALS): 10 MPa
 伝送出力 (AO) の種類 (定格、出力範囲) については、PG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F01-JC) を参照してください。



5. 異常時の表示

■ 入力異常時の表示

-  センサ交換を行う場合には、必ず電源を OFF にしてください。

表示	内容	警報出力	対処方法
PV [点滅表示]	PV が圧力表示上限または下限を超えたときに点滅表示 *	入力異常時の警報動作に従って出力する	入力の種類、入力範囲、センサおよびセンサの接続などの確認をしてください。
	PV が入力異常判断点上限または下限を超えたときに点滅表示 *	通常の警報動作に従って出力する	
oooo [点滅表示]	オーバースケール PV が圧力表示上限+ (入カスパンの 5 %)を超えたときに点滅表示	入力異常時の警報動作に従って出力する	
uuuu [点滅表示]	アンダースケール PV が圧力表示下限- (入カスパンの 5 %)を超えたときに点滅表示		

- * エンジニアリングモード F10 の PV 表示条件 (dSoP) の設定に従って点滅します。

■ 自己診断時のエラー表示

自己診断機能による異常時の表示は、PV 表示器に「Err」とエラー番号を交互に表示します。複数のエラーが同時に発生した場合は、エラー番号の合計値を表示します。

対処方法: 一度、電源を OFF にしてください。電源を再度 ON にした後もエラー状態になる場合は、そのエラー番号を当社営業所または代理店までご連絡ください。

PV 表示器	内 容	動 作
1	調整データ異常	表示: エラー表示 (Err とエラー番号) 出力: すべて OFF (電源 OFF 時と同じ状態) 通信: エラーコードを送信
2	データバックアップエラー	
4	A/D 変換値異常	
128	ウォッチドックタイマ	
256	スタックオーバーフロー	
2048	プログラムビジー	表示: すべて消灯 出力: すべて OFF 通信: 通信停止
全表示 消灯	電源電圧の異常	
	RAM チェック異常	

MODBUS は Schneider Electric の登録商標です。 その他、本書に記載されている会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。	
RKC[®] 理化学工業株式会社 RKC INSTRUMENT INC.	初 版: 2007 年 11 月 [IMQ00] 第 4 版: 2016 年 3 月 [IMQ01]
本 社 〒146-8515 東京都大田区久が原 5-16-6 [ホームページ: http://www.rkcinst.co.jp] TEL (03)3751-8111(代) FAX (03)3754-3316 MAR. 2016	

技術的なお問い合わせは、カスタマーサービス専用電話 TEL (03) 3755-6622 をご利用ください。
The English manuals can be downloaded from the official RKC website:
http://www.rkcinst.com/english/manual_load.htm.